

2019年度資金分配団体申請 様式2事業計画書

2019年度初版

1. 申請事業名：動物の愛護活動推進並びに多頭崩壊防止
2. 申請団体名：一般社団法人佐賀動物愛護協会 佐賀県
3. 助成事業の種類：動物愛護福祉 事業
4. 申請する事業期間：2019年度～2021年度
5. A事業費：5,000万円
(Bうち助成金申請額：4,000万円 80% B/A)

プログラム・オフィサーの伴走支援の活動費：1,454.4万円* 評価関連経費：216万円*

*Bの助成金申請額とは別枠です。

事業計画書の記述項目

別紙「事業計画書作成の手引き」を参考に以下の項目に沿って事業計画書を作成してください。
次ページ以降の記入スペースは適宜増減してください。ただし、全体の分量は40ページ（表紙と本スライドを含める）以内とします。※原則、パワーポイントをご利用ください。

1. 申請事業により解決したい課題、事業の目標および内容

- 1.1. 解決したい課題（社会的ニーズ）と中長期的な事業目標
- 1.2. 原因分析と解決策
- 1.3. 事業の成果目標と内容

2. 包括的支援プログラム

- 2.1. 実行団体の募集
- 2.2. 助成金等の分配
- 2.3. 非資金的支援

3. 社会的インパクト評価の実施内容と方法について

4. 進捗管理、リスク管理と持続可能性

- 4.1. 進捗管理
- 4.2. リスク管理
- 4.3. 持続可能性

5. 実施体制と従事者の役割

6. 広報戦略および連携・対話戦略

7. 関連する主な実績

1.申請事業により解決したい課題、事業の目標および内容

1.1. 解決したい課題（社会的ニーズ）と中長期的な事業目標

- ・申請する事業により解決したい課題（社会的ニーズ）

- 1) 殺処分削減に国が率先する中、殺処分の廃止達成までの加速
- 2) 遺棄・多頭崩壊による地域社会混乱
- 3) 外猫（野良猫）の増加による糞害等
- 4) 飼育困難者へのアドバイスと支援
- 5) 飼育知識が乏しい飼育者に対する専門知識を持った指導員による適切飼育の必要性
- 6) 動物虐待防止

以上の社会的動物愛護法に則ったニーズを佐賀県内にて事業活動として行動していきます。

- ・中長期的な事業目標（最終ゴールのイメージ（事業終了何年後に達成するのか））

事業終了年までに、地域社会にて浸透した活動を徹底して行い、動物トラブルの無い地域社会の実現を目指し、事業終了後3年後には上記目標が確立された地域社会を見据えた活動を行っていきたいと思います。

1.2.原因分析と解決策

・1.1.で記載した課題の原因分析とその解決策の検討

現状の殺処分削減の取組は殺処分削減の目的にて公的機関での引取り拒否等にて浸透してきていますが、遺棄や放置等のアクション、多頭崩壊の増加が起こっているのも事実であり、原因を減らすという対策が薄いと感じられます。動物を飼育する方々の意識改善と、上記アクションが起こる原因を考察した時、いくつかの原因が考えられます。流れ出た水を貯め難いようにする前に流れ出る水を減らすことが最大の解決に向けた対策だと思います。本年度改正された動物愛護法のマイクロチップ義務付け等の法案が可決されましたが、正に流れ出す原因への取組の一環だと思います。しかし社会全体に行き渡るまでにはある程度の月日が掛かる事も事実です。

これを考慮した時に地域社会への取組として以下の対策が考えられます。

- 1) 引っ越しや家庭環境の変化による飼育放棄への対処
- 2) 突然のリストラや収入減による飼育飼料、治療代負担等での家計圧迫への支援
- 3) 予期せぬ繁殖での飼育頭数増加への対処
- 4) 県内全市町村での外猫（野良猫）への繁殖抑制（TNR）活動実施
- 5) 専門知識を持った動物愛護指導員からのアドバイスや指導
- 6) 動物虐待への通報方法の確立
- 7) 以上の項目を県内で実施およびWEB・SNS等で活動報告を全国的に発信

現状、ペット飼育可能物件掲載発信のページ、里親募集のページ、各愛護団体のページなど動物愛護関係のページは沢山ありますが、各自個別独自の発信が大多数となります。

1.3.事業の内容と成果目標

・事業活動により短期的に期待される成果目標

佐賀県内全域の動物愛護法に則った活動

- 1) 殺処分削減対策⇒前年殺処分数の対比にて成果結果確認
- 2) 遺棄・多頭崩壊による地域社会混乱⇒発生数に対するアクションおよび結果報告
- 3) 外猫（野良猫）の増加による糞害等⇒TNR（繁殖抑制）活動実施数報告
- 4) 飼育困難者へのアドバイスと支援⇒訪問による確認及び支援実施世帯数の報告
- 5) 専門知識を持った指導員による適切飼育の指導⇒相談対応による実施件数報告
- 6) 動物虐待防止⇒通報があった際のアクションと対応結果報告
- 7) 以上の項目を県内で実施⇒WEB・SNS等で活動報告を随時発信

以上を事業年度毎に行うことにより県内の動物トラブル対策および動物愛護・動物福祉活動活性化を推進する。

実施した成果をWEB・SNS等で随時活動報告発信することで全国的に同じような活動を行える団体が連携した活動が増加する事が期待できます。

現状、ペット飼育可能物件掲載発信のページ、里親募集のページ、各愛護団体のページなど動物愛護関係のページは沢山ありますが、連携が取れていないためうまく機能していないページも多々あります。

動物を救いたいという気持ちは皆さん同じだと思いますので、連携して機能することが一番の動物愛護対応だと思います。

・具体的な事業の内容

- 1) 引っ越しや家庭環境の変化による飼育放棄への対処⇒ペット飼育可能物件等の案内
- 2) 突然のリストラや収入減による飼育飼料、治療代負担等での家計圧迫への⇒飼料提供や提携動物病院紹介
- 3) 予期せぬ繁殖での飼育頭数増加への対処⇒現状確認と繁殖防止や譲渡対策への取組
- 4) 外猫（野良猫）への繁殖防止（TNR活動）実施⇒県内全市町村で公的支援金や独自の補助実施
- 5) 専門知識を持った動物愛護指導員からのアドバイスや指導⇒不定期な動物飼育セミナーや広報物配布
- 6) 動物虐待への通報方法の確立⇒提携の動物虐待防止機関との連絡体制の確立
- 7) 県内で実施した活動⇒WEB・SNS等で活動報告を随時発信する。

2. 包括的支援プログラム

2.1. 実行団体の募集

・ 募集団体の数、助成金額（総額と1団体当たり）、募集方法、案件発掘の工夫
当協会ホームページでの会員募集、団体数は10団体目標、個人ボランティアは制限なく募集
助成金総額2,000万円
1団体当たり（10団体連携達成の際は総額/10にて）
専門職員による県内の動物関係施設および団体訪問による活動呼びかけ
ボランティア活動を行う中での個人や企業への賛同呼びかけ
ペットフードメーカーへの訪問および賛同呼びかけ
各案件発掘に対しては、当協会スタッフやボランティアスタッフよりの情報収集およびHPからの問合せによる

2.2. 助成金等の分配

団体あたり当事業実行金額の明細確認にて助成金額分配（但し最大分配金額は2.1の10団体達成の際は総額/10）
個人活動に当たっては、当事業実行経費精算時の監査にて必要金額の分配
飼育困難者支援に当たっては当事業実行の際の飼料や消耗品等の配布に要した金額の分配
専門職員の訪問に関しては当事業実行実働に関わる交通費や通信費の分配
その他、当事業動物愛護活動に関する交通費や通信費への分配として利用する。

* 資金計画については様式3に記載してください。

2.3.非資金的支援

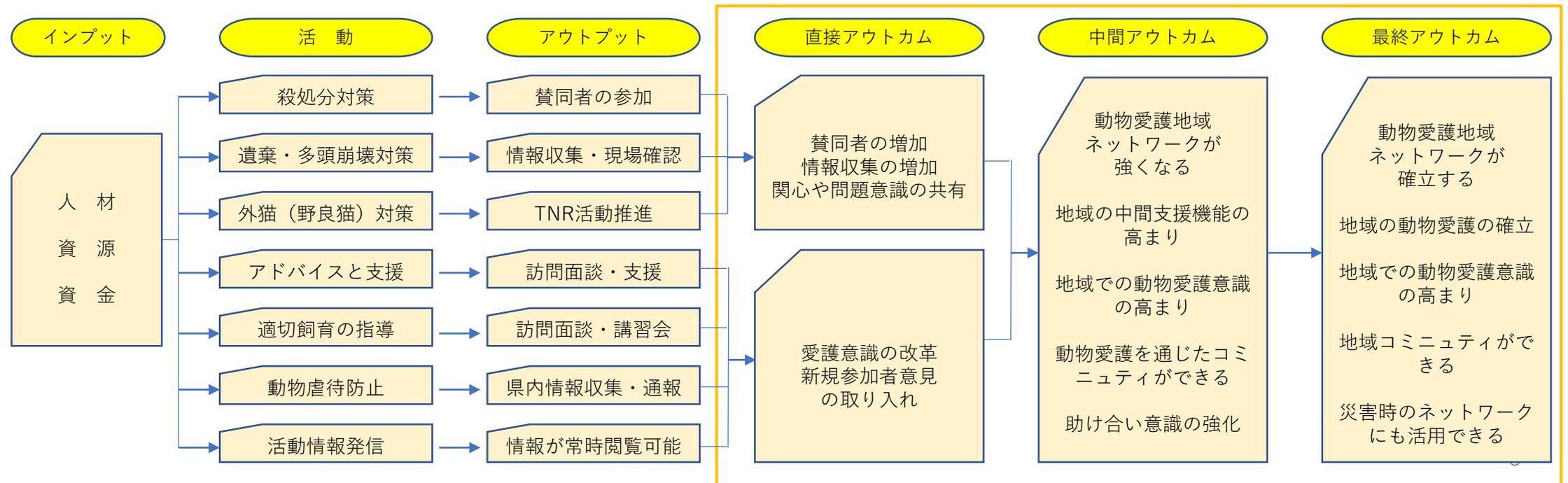
動物虐待防止等の相談による支援や活動
治療が必要と判断される動物たちの支援や提携動物病院の斡旋
動物飼育環境改善等の相談対応
外猫（野良猫）等の苦情等に係る相談受付や実行
放置された動物たちへの対応
里親探しへの協力、里親募集（チラシ作製・ホームページ掲載・SNS拡散）
動物専門相談員依頼等への対応
国および地方自治体の動物愛護事業への協力
提携動物愛護団体からの依頼や支援要請
迷い猫、迷い犬発生時の対応（チラシ作製・ホームページ掲載・SNS拡散）
実行連携団体へのホームページ制作やSNS設定拡散手法の指導
個人会員へのSNS登録やホームページ里親掲載方法などの指導
当事業活動時のメールアドレスの発行
必要であれば当協会ホームページサブフォルダにおける個人動物愛護ページの作成・運営
インターネット・SNS広告を通じた当事業の周知活動を行い横の連携を広げていく

3. 社会的インパクト評価の実施内容と方法について

事業目標：

- 1) 殺処分削減対策
- 2) 遺棄・多頭崩壊による地域社会混乱防止
- 3) 外猫（野良猫）の増加による糞害等の防止
- 4) 飼育困難者へのアドバイスと支援
- 5) 専門知識を持った指導員による適切飼育の指導
- 6) 動物虐待防止
- 7) 以上の項目を県内で実施毎にWEB・SNS等で活動報告を随時発信

事業の受益者：県内の里親希望者、飼育困難者、動物トラブルを抱える方々および地域社会



4. 進捗管理、リスク管理と持続可能性

4.1. 進捗管理

- ・スケジュール（6カ月ごとの進捗管理、伴走支援、評価）

- ・TNR活動実施に向けて

8月～10月：先行実施活動している団体への活動参加と手法の確立
実施場所と実施期間の3カ月ごとのデータ取得予定表作成

伴走支援：3カ月毎の実施TNR活動の実施件数と参加人数の確認

- ・飼い主のいない動物たちの里親探し支援

ホームページやSNSによる発信（当協会ホームページに専用ページ設置済）を利用した発信
九州内の動物愛護ボランティアとの連動による里親探し

伴走支援：発生毎にWEB・SNSによる告知と譲渡件数の確認（毎月）

里親譲渡管理データベース（作成済み）による譲渡件数と譲渡先の確認

- ・飼育困難者や多頭崩壊の支援

協力団体との連携により常に情報収集（専用ページにてメンバーは情報の登録、修正が可能）

発生毎による対策と実施項目の立案・実行（発生毎に行う）

伴走支援：データベースの提供と専用情報ページデータ分析、情報確認（月毎実施）

上記データ分析により、月度毎の実施と対策と傾向を分析し各進捗に対し不足分があれば対策を講じる。月度毎に行い、周知を6カ月ごとに各実行メンバーへ進捗管理として報告・連絡・提案を行う。

4.2. リスク管理

- ・ TNR活動中は不審者と間違われる場合があるので、専用のゼッケンもしくは目立つ標章を作成し活動中は必ず着用することとする。
- ・ 活動中は必ず最低2人一組で行動する。
- ・ 多頭飼育崩壊・飼育困難者支援の場合も必ず最低2人一組で行動する。
- ・ 動物愛護活動に否定的な方々が多い場合は、一旦その地域での活動は中止し、地区担当長などに話を通じて理解を得たうえで活動を行う。
- ・ 連絡システムを事業開始前に明確に構築し、ルールに則って報告・連絡・相談を行う。
- ・ 動物の不明の病気や怪我の発見の際は提携動物病院に連絡の上指示を貰ってからの対応とする。
- ・ その他リスクと感じられることはすべて事務局責任者へ連絡の上個人判断では動かない体制を作る。

4.3. 持続可能性

- ・当団体も含め現在賛同いただいている団体・個人様はある程度の年数を経験の上活動しているので、バラバラであった行動を無理なき範囲で意識統一した形での活動ですので、持続可能性については問題ないかと判断します。
- ・また、新たに皆がひとつの目標に向かって協力し合って活動することによりモチベーションの向上により、新たな活動意欲が湧いてくるのではないかと考えております。

5. 実施体制と従事者の役割

- ・ ガバナンス・コンプライアンス体制

事務局となる当協会が、これまでの社会経験上体験、実行してきたガバナンス・コンプライアンス意識を十分に浸透させ、また文書として活動開始時に参加メンバーに配布し徹底させます。

- ・ 事業実施体制の整備

この事業計画書内容を元に実施する項目を大項目・中項目・小項目に分類し、各参加メンバーへの業務振り分けを適材適所にて配分し、実行効率の良い事業実施体制を構築します。

- ・ メンバー構成と各従事者の役割・担当（非資金的支援の実施体制を含む）

上記で記載したように各参加メンバーにて得手不得手があるので、非資金的支援活動の延長で行う意識を十分に持ち、今回の事業展開に結び付く役割・担当制を構築します。

- ・ （任意）外部人材の活用

他参加団体のリーダーとなる方を事務局の主要メンバーとして迎え当協会だけの活動ではなくまずは佐賀県から、九州へ向けた活動への展開を考えております。

- ・ 外部協力者、実行団体等の連携と対話の関係構築をどのように行うのか

現在も他団体や個人活動の方々との連携が出来ている部分もありますので、その延長で新たな団体との提携・関係構築を築き上げて行きたいと思っております。

また、月1回程度のミーティングを実施し意識の照らし合わせを行っていく計画です。

6. 広報戦略および連携・対話戦略

・ 広報戦略

当協会、提携団体、各ボランティアでのWEB・SNSでの情報発信
各地域での自治体、スーパー、コンビニ、モール等でのポスターによる告知

・ 具体的な実施内容、ターゲット、手段、期待される効果等
各自治体に許可を取り自治体の出張機関や地域モール、スーパー、コンビニ、ホームセンター等に事業内容を記載したポスターを掲載する。
各団体個人ボランティアの既存のWEB・SNS等を活用して周知を図る。

・ JANPIA、実行団体との連携を進めるための体制と計画

当協会が窓口となり必要に応じて、事業計画の推移や進捗実行率の推移や蓄積されたデータの提供を行いたいと思います。

・ 他のセクター、団体、企業等の事業への参画、多様な関係者との対話など、それぞれを推進する連携・対話の戦略

当協会の営業担当を他県の各団体や動物関連企業、関係者への周知活動を行い当事業への理解と周知を含め、またこちらから新たに参加してお手伝いできる活動には積極的に参加していきたいと考えております。

7. 関連する主な実績

- ・ 案件を発掘、形成するための調査研究
参加各団体・個人ボランティアも含め口コミ、WEB・SNSでの周知
ホームページでの更なる案件発掘窓口の周知
GoogleNPO支援による検索広告での周知
- ・ その他、連携、マッチング、伴走支援の実績、事業事例等
佐賀県、福岡県内の保護団体との連携での里親募集や、TNR活動への参加
その他他団体、当協会での譲渡会開催

* 助成事業の実績と成果は「資金分配団体公募システム」の該当箇所に記載してください。